



## 2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月12日

上場会社名 株式会社オークネット 上場取引所 東  
 コード番号 3964 URL https://www.aucnet.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)藤崎 清孝  
 (役職名)執行役員  
 問合せ先責任者 コーポレート部門DM (氏名)谷口 博樹 (TEL)03(6440)2552

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第3四半期の連結業績(2019年1月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	14,803	2.7	1,831	△27.4	1,867	△28.7	958	△33.6
2018年12月期第3四半期	14,420	△1.8	2,521	△3.4	2,620	△1.8	1,443	△0.4

(注) 包括利益2019年12月期第3四半期 1,112百万円 (△19.0%) 2018年12月期第3四半期 1,374百万円 (△6.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	34.79	34.46
2018年12月期第3四半期	52.58	51.81

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	28,133	17,812	62.4
2018年12月期	27,257	17,413	63.1

(参考) 自己資本2019年12月期第3四半期 17,555百万円 2018年12月期 17,205百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2019年12月期	—	13.00	—		
2019年12月期(予想)				13.00	26.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日~2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,776	1.5	2,519	△21.7	2,878	△13.0	1,552	△9.1	56.34

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規1社(社名)iryoo.com株式会社、除外1社(社名)株式会社オークネットデジタルプロダクツ

(注)詳細は添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年12月期3Q	27,754,300株	2018年12月期	27,667,500株
2019年12月期3Q	150,216株	2018年12月期	151,902株
2019年12月期3Q	27,545,177株	2018年12月期3Q	27,453,245株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※当社は、株式給付信託(BBT)を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出を中心に弱さが続いているものの、雇用・所得環境が着実に推移する中、各種施策の効果により、引き続き緩やかな回復基調で推移しました。一方、米中間の通商問題をめぐる緊張の増大や、海外経済の動向と政策の不確実性の影響により、世界経済は先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は、「あしたの流通を創造する」をブランドステートメントと掲げ、BtoBビジネスに係る仲介を行う情報流通のみならず、競争力のある付加価値を伴った商品及びサービスを提供する情報流通のための施策を推進し、社会的価値、経済的価値の更なる向上に努めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は14,803,353千円（前年同期比2.7%増）、営業利益は1,831,062千円（前年同期比27.4%減）、経常利益は1,867,972千円（前年同期比28.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は958,431千円（前年同期比33.6%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## (イ) 四輪事業

当事業は、中古車オークション(※1)、共有在庫市場(※2)、ライブ中継オークション(※3)、落札代行サービス(※4)、車両検査サービス(※5)等で構成されています。

当事業と関連の深い自動車業界では、当第3四半期連結累計期間の新車登録台数(※6)は、前年同期比3.1%増の414万台、中古車の登録台数(※7)は、同2.2%増の536万台、中古車オークション市場の出品台数(※8)は、同4.9%増の581万台、成約台数(※8)は、同3.1%増の372万台となりました。

当社の中古車オークションでは、市場動向は多少上向きとなったにも関わらず、主要な出品ターゲットである輸入車ディーラー会員からの出品が減少したことが影響し、出品台数・成約台数は前年同期を下回りました。共有在庫市場では、輸出台数減少が下げ止まりつつあることや、ディーラー系・レンタリース系のグループ間での取引台数が引き続き堅調に推移したため、登録台数・成約台数がそれぞれ上昇しました。また、車両検査サービスは、消費者向け車両検査が好調を維持したことにより、検査台数は前年同期を上回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は（セグメント間の内部売上高を含む）9,279,223千円（前年同期比3.7%増）、営業利益は2,912,382千円（前年同期比3.5%増）となりました。

(※1)中古車オークションとは、当社が主催するオンラインで行う会員制のリアルタイム中古車オークションのことです。

(※2)共有在庫市場とは、当社の会員ネットワークを活用し、会員が所有する中古車店頭在庫の情報を会員間で共有し取引する市場のことです。

(※3)ライブ中継オークションとは、当社が業者間取引の市場である現車オークション会場と提携し、現車オークション会場が主催するオークションを中継するサービスのことです。

(※4)落札代行サービスとは、株式会社アイオークが業者間取引の市場である現車オークション会場等に出品される中古車の落札・出品・決済・輸送の代行を行うサービスのことです。

(※5)車両検査サービスとは、株式会社AISが出品車両の検査及び車両検査技能に関する研修を行うサービスのことです。

(※6)一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計資料より

(※7)一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計資料及び一般社団法人全国軽自動車協会連合会の統計資料より

(※8)ユーストカー総合版+輸出相場版より

(ロ) デジタルプロダクツ事業

当事業は、中古スマートフォン・中古PC等の中古デジタル機器のオークション及び流通に付随するサービスで構成されています。

国内スマートフォンの販売不振等の影響により、市場全体の流通台数が減少している中、新型スマートフォンが販売されたものの、販売から間もない状況であったため、影響は軽微なものとなりました。また、4月に主要取引先との契約内容を変更したことで、流通台数は前年同期を上回りましたが、台あたりの手数料は、前年同期を大幅に下回りました。加えて、国内の商品化センター移転に関連する営業費用が増加いたしました。一方、海外事業の観点では、米国事業拠点のインフラは整ったものの、提携先との取引準備に時間を要し、試験的取引の段階に止まったこと等により、営業費用が増加しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,735,507千円（前年同期比2.6%減）、営業利益は449,901千円（前年同期比70.7%減）となりました。

(ハ) その他情報流通事業

当事業は、ブランド品、中古バイク、花き(切花・鉢物)のオークション及び流通に付随するサービスで構成されています。

ブランド品は、新規会員獲得施策が奏功し、成約点数・取扱高がそれぞれ前年同期を上回りました。また海外落札額が米国・欧州を中心に好調であり、前年同期を大幅に上回りました。中古バイクは、市場動向の厳しさが増す中、オークションでは、各種施策を実施するも、出品台数の確保に苦戦し、成約台数は前年同期の水準となりました。一方、レンタルサービスでは、新規会員の獲得や稼働台数が順調に推移し、前年同期を上回りました。花き(切花・鉢物)は、配送効率化により、クレーム及び欠品を削減することに成功する等、各種施策が奏功しました。また、贈答花の手配を代行するサービス「贈答の窓口」も引き続き好評であり、取扱高が前年同期を上回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は（セグメント間の内部売上高を含む）2,044,375千円（前年同期比3.1%増）、営業利益は516,230千円（前年同期比11.3%増）となりました。

(ニ) その他事業

当事業は、システム開発及び提供、通信及び運営保守サービスの提供、中古医療機器関連事業、海外事業等で構成されています。

当第3四半期連結累計期間の売上高は（セグメント間の内部売上高を含む）1,301,440千円（前年同期比1.3%減）、営業損失は228,620千円（前年同期は営業損失194,528千円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて876,522千円増加し、28,133,697千円となりました。これは主に、売掛金が40,903千円、オークション貸勘定が2,343,555千円、無形固定資産が78,322千円、投資その他の資産が629,066千円増加したものの、現金及び預金が3,288,438千円、有形固定資産が18,446千円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて477,645千円増加し、10,321,120千円となりました。これは主に、買掛金が15,992千円、オークション借勘定が1,105,271千円、株式給付引当金が26,148千円増加したものの、退職給付に係る負債が101,785千円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて398,877千円増加し、17,812,577千円となりました。これは主に、資本金が14,947千円、利益剰余金が223,233千円、その他有価証券評価差額金が38,264千円、退職給付に係る調整累計額が105,592千円、非支配株主持分が49,388千円増加したものの、資本剰余金が22,228千円、自己株式が2,794千円、為替換算調整勘定が13,115千円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期通期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2019年2月14日に公表いたしました業績予想を修正しております。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,489,700	13,201,262
受取手形及び売掛金	861,503	902,406
オークション貸勘定	2,639,122	4,982,678
その他	1,400,004	2,482,589
貸倒引当金	△68,094	△59,120
流動資産合計	21,322,235	21,509,815
固定資産		
有形固定資産	1,551,928	1,533,482
無形固定資産	1,393,462	1,471,785
投資その他の資産	2,989,547	3,618,614
固定資産合計	5,934,939	6,623,882
資産合計	27,257,175	28,133,697
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	599,991	615,983
オークション借勘定	4,692,847	5,798,119
その他の引当金	91,330	249,678
その他	1,935,393	1,160,402
流動負債合計	7,319,563	7,824,185
固定負債		
株式給付引当金	40,139	66,288
退職給付に係る負債	1,705,599	1,603,813
その他の引当金	5,679	8,980
その他	772,491	817,852
固定負債合計	2,523,911	2,496,935
負債合計	9,843,475	10,321,120
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,711,335	1,726,283
資本剰余金	6,801,669	6,779,441
利益剰余金	8,815,791	9,039,025
自己株式	△248,596	△245,802
株主資本合計	17,080,200	17,298,946
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	161,323	199,588
為替換算調整勘定	10,187	△2,927
退職給付に係る調整累計額	△45,979	59,613
その他の包括利益累計額合計	125,531	256,273
非支配株主持分	207,968	257,357
純資産合計	17,413,699	17,812,577
負債純資産合計	27,257,175	28,133,697

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)
売上高	14,420,990	14,803,353
売上原価	5,485,865	6,745,800
売上総利益	8,935,124	8,057,552
販売費及び一般管理費	6,414,077	6,226,489
営業利益	2,521,046	1,831,062
営業外収益		
受取利息	5,915	20,146
受取配当金	34,174	37,035
持分法による投資利益	46,780	34,332
その他	23,489	38,354
営業外収益合計	110,359	129,868
営業外費用		
支払利息	2,718	1,411
為替差損	7,286	88,752
その他	873	2,795
営業外費用合計	10,878	92,959
経常利益	2,620,528	1,867,972
特別利益		
投資有価証券売却益	—	10,000
その他	7,012	157
特別利益合計	7,012	10,157
特別損失		
関係会社株式評価損	—	74,269
固定資産除売却損	23	30,568
その他	62,220	18,334
特別損失合計	62,243	123,172
税金等調整前四半期純利益	2,565,297	1,754,957
法人税等	1,096,648	772,744
四半期純利益	1,468,648	982,213
非支配株主に帰属する四半期純利益	25,037	23,782
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,443,611	958,431



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,468,648	982,213
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△98,831	38,264
為替換算調整勘定	1,052	△13,115
退職給付に係る調整額	3,639	105,592
その他の包括利益合計	△94,139	130,742
四半期包括利益	1,374,508	1,112,955
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,349,471	1,089,173
非支配株主に係る四半期包括利益	25,037	23,782

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社でありました株式会社オークネットデジタルプロダクツは、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社でありました株式会社アシストは、同じく当社の連結子会社でありますJBTV株式会社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

また、当第3四半期連結会計期間において、当社の特定子会社であるiryoo.com株式会社に増資いたしました。これに伴い、財務上の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第3四半期連結会計期間において、新たに設立した株式会社カーセを連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(業績連動型株式報酬制度)

当社は、2018年3月28日開催の第10回定時株主総会決議に基づき、取締役及び執行役員（以下「取締役等」といいます。）の報酬と当社の業績及び株式価値との連動性をより明確にし、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、業績連動型株式報酬制度「株式給付信託（BBT（＝Board Benefit Trust））」（以下「本制度」といいます。）を導入しております。

当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 平成27年3月26日）に準じています。

## (1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託（以下、本制度に基づき設定される信託を「本信託」といいます。）を通じて取得され、取締役等に対して、当社が定める役員株式給付規程に従って、当社株式及び当社株式を時価で換算した金額相当の金銭（以下「当社株式等」といいます。）が本信託を通じて給付される業績連動型株式報酬制度です。なお、取締役等が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時となります。

## (2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。当第3四半期連結会計期間末における当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、245,484千円及び150,000株であります。

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	四輪事業	デジタル プロダクツ 事業	その他 情報流通 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	8,820,001	2,809,369	1,979,798	13,609,169	811,821	14,420,990	—	14,420,990
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	127,113	—	3,635	130,748	506,237	636,985	△636,985	—
計	8,947,114	2,809,369	1,983,433	13,739,917	1,318,058	15,057,975	△636,985	14,420,990
セグメント利益 又は損失(△)	2,813,386	1,533,732	463,800	4,810,919	△194,528	4,616,391	△2,095,344	2,521,046

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発及び提供、通信及び運営保守サービスの提供、中古医療機器関連事業、海外事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,095,344千円には、のれん償却額△481,675千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,613,668千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	四輪事業	デジタル プロダクツ 事業	その他 情報流通 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	9,168,384	2,735,507	2,044,375	13,948,267	855,085	14,803,353	—	14,803,353
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	110,838	—	—	110,838	446,355	557,194	△557,194	—
計	9,279,223	2,735,507	2,044,375	14,059,106	1,301,440	15,360,547	△557,194	14,803,353
セグメント利益 又は損失(△)	2,912,382	449,901	516,230	3,878,514	△228,620	3,649,894	△1,818,831	1,831,062

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発及び提供、通信及び運営保守サービスの提供、中古医療機器関連事業、海外事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,818,831千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,818,831千円で、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。